

# 決算特別委員会会議録

作成者 議会事務局 副主幹 石井繁治

日 時 平成28年9月16日(金) 午前9時30分～午後3時50分

場 所 庁舎3階 第一会議室

出席者 田辺正弘委員長、前之園孝光副委員長、森建二委員、蛭田公二郎委員、石渡登志男委員、

欠席者 倉持安幸委員

議会事務局 秋本事務局長 石井

《概 要》

## 1 開 議

## 2 審査事項

【下水道課審査】午前9時30分～午前10時24分

出席職員：御苑課長、小泉副課長、三宅班長、大塚班長

下水道課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

森 委員 公共下水、農業集落排水、コミュニティプラントの受益者負担金の不納欠損が多いが。

御苑課長 平成26年度の監査で不納欠損をするように指導があり行った。平成3年から平成27年分までである。

森 委員 平成3年からつもり積ってなったのか。受益者負担金とは。

大塚班長 下水道工事をする際、受益を受ける方から1㎡当たり550円の負担金をもらっている。土地所有者が亡くなり相続が発生したり、土地の売却などで徴収できないケースがある。

蛭田委員 このような欠損は、他の自治体でも発生するのか。

大塚班長 発生する可能性ある。不納欠損処理は適正に行わなければならない。

森 委員 他の自治体は、毎年不納欠損処理をしているのか。

大塚班長 本来であれば5年経過したものが、自動的に欠損となる。他では処理をしている。

森 委員 企業であれば大変な問題。平成26年度の欠損額は。

大塚班長 平成26年度の欠損額は、32万3千960円。

前之園副委員長 工事前に受益者負担金をもらえないのか。

大塚班長 当初は工事前にもらっていたが、工事の遅れなどで負担金の返還を求められたりしたので、方針を変えて工事終了後に負担金をもらっている。5年間、20回に分けて徴収している。5年間のうちに所有者が変わったり、転居したりして追い切れないことがある。

前之園副委員長 公債費の利子について、低いものに変えられないか。

大塚班長 利子の低いものに変えている。

前之園副委員長 残金、利率は。

大塚班長 残額約66億6千万。利率は0.35～4%。

森 委員 受益者負担金は契約書によるものか。

大塚班長 条例によるもの。申告をしてもらい、確認して、納付書を送っている。

#### とりまとめ

前之園副委員長 ・受益者負担金の不納欠損がでないように努力されたい。改善を求める。

#### — 休憩 —

#### 【都市整備課審査】午前10時30分～午前11時

出席職員：林課長、米倉室長、深山副課長、宇津木班長、山本班長

都市整備課長 提出資料に添って説明。

#### (質 疑)

石渡委員 15ページ、住宅耐震改修促進事業、実績2件。機能してないのではないか。どう考えるか。

林 課長 高齢者が多く、今さらお金をかけられない。耐震診断、補強をしない。

石渡委員 お金のないことを考えて、現実的なことを考えての対応を。

前之園副委員長 21ページ、区画整理事業について、移転費用等の説明を。

林 課長 建物移転6件、約82,000,000円、仮換地損失補償、13件、約4,700,000円である。

前之園副委員長 今年のは状況は。

林 課長 今月末に移転期限としてお願いしてる。理解してもらえない方は、県へ審査請求をしている。結果をもって判断してくれると思う。

田辺委員長 県の結論はいつか。

林 課長 11月頃になると思う

森 委員 市民も注目している。大変な事業であるが頑張ってもらいたい。

前之園副委員長 公園の遊具の維持管理について、点検状況は。

林 課長 5団地は20年以上経過している。市職員が定期点検を実施している。本年度は、専門業者が実施する。

蛭田委員 10ページ、定期的に公園の整備をしているのか。委託先は。

林 課長 公園管理の草刈等は、業者に委託している。一部の公園は地元自治会にお願いしている。トイレの浄化槽点検も含まれる。

田辺委員長 20ページ、審議会委員の構成、人数は。

米倉室長 地権者6名、学識経験者2名、計8名である。

蛭田委員 8ページ都市計画道路管理、市職員が除草したのか。

山本班長 2回実施予定のうち1回は市、2回目は企業で実施するよう予算化していたが、トイレの修理に予算が必要となり、2回とも市職員が実施した。

とりまとめ

- 前之園副委員長
- ・大網駅東土地区画整理事業の早期完成に努められたい。
  - ・公園の維持管理に努められたい。
  - ・耐震診断の普及に工夫されたい。

— 休 憩 —

【建設課審査】午前11時14分～午前11時47分

出席職員：菰田課長、大塚副課長、飯倉室長、北田班長、渡辺（公）班長、渡辺（茂）班長  
建設課長 提出資料に添って説明。

（質 疑）

前之園副委員長 7～8ページ、スマートインターチェンジの用地買収の進捗状況は。

菰田課長 用地買収の進捗状況は、アクセス道路、本体とも9割である。

田辺委員長 残りの1割は順調に進むのか。

菰田課長 本体部はあと4名、うち1名は内諾を得た。抵当権が発生している者2名は事業に反対ではない。抵当権の抹消の手続きをしている。アクセス道路部分はあと3名、うち1名は内諾、1名交渉中、1名の方は契約を最後にしてくれとのことである。

石渡委員 5ページ、樹木管理委託料、平成25年度の決算委員会で指摘している。平成25年度と比べどのくらい経費削減したのか。

菰田課長 後で資料を用意し説明する。

田辺委員長 資料提出を。

前之園副委員長 みずほ台などは、木の根で歩道が壊れているが。考えを聞かせてもらいたい。

北田班長 季美の森は、規模が大きいので、対応を考えている。その他、小さいものは現場を見て対応している。葉っぱは、地元での管理をお願いしている。

前之園副委員長 11ページ、金谷川改修の進捗状況は。用地買収は。

渡辺（茂）班長 平成25年度から工事着手した。工事区間460mのうち96m完成した。今年度は、要害橋の上流側半分の架け替え工事を発注した。用地の地権者27名中2名方の協力がまだ得られていない、継続的に交渉していく。

森 委員 2ページ、道路台帳補正業務、土地の登記、例えば税務課などと共通データにすることで安くないか。

渡辺（公）班長 工事後に道路幅員の訂正、道路の長さのデータは他の課ではもっていない。都市計画道路は都市整備課と資料のみ共有している。

菰田課長 道路台帳は道路法により作成するもの。交付税の算定資料としては提供している。

前之園副委員長 台風での倒木被害は。間引きする考えは。

菰田課長 季美の森では、大きなケヤキ1本を切断した。建設課としては、維持管理のかからないもの考えるが、地元で聞くと、この景観が良くてここにしたい。景観を良くするため、剪定を頻繁にお願いします。

ると言われる。

前之園副委員長 市内にカーブミラーは何か所あるのか。台風で直したのは何か所か。

北田班長 台風でカーブミラーを調整したのは6件である。

田辺委員長 課として、台風の体制は。

菰田課長 安全対策課で配備体制を示す。今回は第2配備であった。

#### とりまとめ

前之園副委員長 ・スマートインターチェンジ関連事業の推進を図りたい。

・金谷川改修事業を速やかに推進されたい。

・市道樹木管理については、経費削減をふくめ、樹種については市民の意見を反映されるよう  
図りたい。

#### — 休 憩 —

#### 【農業委員会審査】午後1時～午後1時27分

出席職員：橋本事務局長、小倉班長

農業委員会事務局長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

前之園副委員長 農地面積、農家数、専業農家数は。

橋本局長 農地面積は2,033ha、農家数は1,295戸。専業農家数の資料は、手元にない。

前之園副委員長 農地法第3条、4条、5条の内容は。

橋本局長 3条は売買、贈与等により所有権を移転する許可申請、4条は自ら、5条は第三者が農地を農地以外に利用する場合の許可申請である。

前之園副委員長 農業委員と推進員との連携は。

橋本局長 農地利用最適化推進員は平成28年度からもうけられたもの。農地パトロール、農地活用の意向調査をしてもらう。農地の貸し借りの仲介をする。

田辺委員長 結婚相談員8名、活動に関して法的に農業委員会に設ける必要はあるのか。

橋本局長 法的な定めはなし。県内でも2～3しか実施していない。相談件数は減っている。相談事業として婚活セミナー、バスツアーを毎年1回行っている。

田辺委員長 平成24年度の決算委員会で指摘している。他の団体との連携は。

前之園副委員長 相談は熱意をもって行ってもらいたい。

石渡委員 公費を使って講師をお願いしている。結婚の成立は、あるのか。

橋本局長 成立はなし。

森 委員 今年度は、どうするのか。

橋本局長 婚活セミナー、バスツアーを実施する。

森 委員 農業委員の視察内容は。

橋本局長 視察先は、栃木県のクボタ宇都宮工場、福島県のジョイカムアグリ福島である。

森 委員 農業者年金は農業者だけのものか。  
橋本局長 農業者年金は積立式、積立した分がもらえる。  
前之園副委員長 農業委員の機能充実のための視察をするように。

とりまとめ

前之園副委員長 ・遊休農地の解消に努められたい。  
・結婚相談事業については、関係団体と連携し、効率化を図るよう努められたい。

— 休 憩 —

**【ガス事業課審査】** 午後1時28分～午後1時54分

出席職員：鎌田課長、佐久間副課長、石井班長、山田班長、花澤主査  
ガス事業課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 市営ガスの利用件数は増えているが、使用量は少ない。オール電化の影響はあるのか。  
鎌田課長 温暖化など複数の理由があるが一番の原因は、一戸の人数の減少ではないかと思う。他にエコ器具の影響で使用量が少なくなっている。  
前之園副委員長 留保財源が減っている、どう対応するのか。  
鎌田課長 新たな債権発行か、利益剰余金の取り崩し見込みをたてながら対応するなど、決定した訳ではないが考えられる。  
前之園副委員長 利率の高いものを早く償還できないか。  
鎌田課長 ガス事業の起債は、繰り上げ償還が認められていない。  
前之園副委員長 経営改善を見直してもらいたい。

とりまとめ

前之園副委員長 ・引き続き、ガス利用のPR促進に努めるとともに、ガス供給戸数の確保に取り組まされたい。  
・経営健全化のため努力されたい。

— 休 憩 —

**【管理課審査】** 午後2時5分～午後2時50分

出席職員：小高教育長、古内課長、中村室長、鶴沢主幹、花澤副課長、森川班長  
管理課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 42ページ、幼稚園就園奨励金、平成27年から補助金上がったが、市独自か。

古内課長 近隣他市に比べ低いので、平成27年度から3年かけ上げる。

前之園副委員長 保護者からの徴収の減免ルールは。

花澤副課長 所得に応じ5段階、こどもの数、第1子、2子、3子、階層ごとに設定。

前之園副委員長 土地借地料、年間いくらか。今後、借り上げどうするのか。

古内課長 買い上げが有利の場合は今後検討する。

田辺委員長 毎年交渉しているのか。

花澤副課長 毎年契約更新している。8件借りていて、年額約18,600,000円である。

田辺委員長 適正な金額になるよう努力を。

石渡委員 28ページ、心の教室相談事業は大事なことで、相談員の勤務形態、内容は。

中村室長 週3日勤務、大綱中は午後1時～午後5時、ちょっと相談するハードルの低い内容である。

石渡委員 ちょっとした相談がとても大事。

教育長 昨年度の相談件数、1,444件。大きな役目をなしている。

前之園副委員長 1ページ、耐震化事業は本年度で完了か。

古内課長 現在、白里中学校の屋内運動場耐震工事を行っているので、それで全部完了する。

森 委員 22ページ、小学校就学援助事業の内容は。

中村室長 新入学の学用品、修学旅行費、給食費などである。

森 委員 多い地区は。

古内課長 地域的な差はあるが、分析はしていない。

森 委員 24ページ、小学校給食事業、補助金はどのような場合払われるのか。

古内課長 全ての児童に月500円、中学生は月600円補助している。

前之園副委員長 給食費の徴収は、だれが行うのか。

古内課長 引き落としで行う。口座残高がない場合は現金で行うことがある。

蛭田委員 給食費を払っていない家庭はどのくらいか。

古内課長 市内の小中学校合わせて滞納者は37人、30世帯である。

田辺委員長 滞納者への対応は。

中村室長 学校から督促しそれでも支払がない場合は担当、管理職が督促する。児童手当から引き落とすことも可能と選択肢を伝えている。

田辺委員長 年度が変わっても請求するのか。

教育長 引き続き督促する。

蛭田委員 児童手当からの差し引きはどのくらいか。

教育長 9家族12人。

前之園副委員長 37ページ、コンピュータ教室の現状、教師への教育は。

中村室長 小中学校に子供用コンピュータを40台設置している。さらに大綱小はタブレット20台設置している。教師が慣れるように、実践を兼ねた研修を今後進める意向である。

#### とりまとめ

前之園副委員長 ・小中学校においては、将来を見据えた情報教育機器の整備を検討されたい。  
・教職員の負担軽減に努められたい。  
・心の相談の充実に努められたい。

【生涯学習課審査】午後3時5分～午後3時50分

出席職員：小高教育長、織本課長、永井副課長、海保館長、河野所長、吉原館長、石井室長、佐久間室長  
生涯学習課長 提出資料に添って説明。

(質 疑)

蛭田委員 1 ページ、文化的公共施設貸付料減の説明を。

織本課長 農村婦人の家敷地内に、発掘した資料を保存していた。県文化公益団体へ建物を貸付していたが、平成27年度6月に事務所が撤退となり貸付料が減った。

前之園副委員長 91 ページ、中コミの太陽光発電設備の現状と効果は。

河野所長 太陽光発電パネルの設置と屋上の全面改修、LED工事を行った。平成28年1月から発電している。停電時に電気をまかなえる。平成28年1月～7月のデータで月3万円電気代節約できた。避難所として安心して使える。

森 委員 なぜ太陽光発電装置にしたのか。

織本課長 避難所のなかで唯一発電施設がなかったので導入した。再生可能エネルギーを普及させるための千葉県補助金を利用した。

蛭田委員 避難所の運営のためとのことだが、なぜアリーナではなく中コミなのか。

織本課長 避難所として白里公民館、中央公民館には発電設備はあるが、中コミだけなかったため。

前之園副委員長 43 ページ、スポーツ施設のトータルの利用者数は。中央公民館、中コミ、白里公民館、トータル利用者数は。

織本課長 後で資料提出する。

蛭田委員 71 ページ、視聴覚室の貸し出し、視聴覚室とはどこか。

佐久間室長 3階ホールである。

前之園副委員長 視聴覚室のトータル利用者数は。

織本課長 79 ページ、年間開館日数、320日、開館時間2,560時間、利用人数20,808人である。

蛭田委員 WEBとはなにか。

織本課長 インターネットによる利用のこと。

森 委員 73 ページ、廃棄書数はどのくらいか。

佐久間室長 年間約2,000冊廃棄している。

森 委員 住民の意見として本がきたない、古いと聞く。

蛭田委員 77 ページ、図書室の臨時職員数は。

織本課長 臨時職員は13人、ローテーションで勤務している。年間延べ2,389人である。

田辺委員長 アリーナの利用者は増えているのか。

石井室長 特にトレーニング室の利用者が増えている。

田辺委員長 トレーニング室の空状況は。

石井室長 平日は夕方が多い。昼間も利用している。ランニングマシンの利用が多い。

石渡委員 大網白里市民の名前を借りて、申し込んでいると聞いたが。  
石井室長 毎月1日に受付できるのは市内の方、市外の方は10日に受付している。  
蛭田委員 1ページ、ピースバスツアーは、子供対象の事業。参加者を増やすために無料にしたらどうか要望として。  
前之園副委員長 アリーナでの事故対応は。  
石井室長 打撲程度は氷で冷やしている。状況により救急車を呼ぶ。事務所にはAEDを設置している。  
前之園副委員長 図書室の蔵書数は。  
佐久間室長 平成28年3月末、三室の合計で149,183冊  
森 委員 12・13ページ、放課後子ども教室、来年度の考えは。  
永井副課長 大網小は、プレハブ校舎建設により5教室増える。放課後子ども教室を開設するに当たり教室をどのように利用するのか、どの教室で学童保育を行うのか関係各課と調整をしていく。早期に開設したい。

#### とりまとめ

前之園副委員長 ・図書室図書の充実を図られたい。  
・大網白里アリーナのさらなる利用者向上に努められたい。  
・大網小学校の放課後子ども教室の開設を検討されたい。

### 3 散 会